

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 23	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 混合堆肥複合肥料の様々な作物への適用試験	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  令和4年6月の肥料価格改定により、化学肥料の大幅な高騰が予測されており、農家経営の圧迫が懸念される。  国のみどり食料システム戦略では、化学肥料の30%低減を目指しているが、この一環として農家が安価で使用しやすい有機質資材として「混合堆肥複合肥料」が普及するよう、野菜以外の様々な作物（水稻、果樹、茶等）にも試験に取り組み、普及拡大する必要がある。	
解決希望年限	②2～3年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部、生産技術部、北相地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 化学肥料を削減するための土壌管理技術の開発 (実施・実施中)			
対応の内容等 野菜作での混合堆肥複合肥料や指定混合肥料の施用試験は、土壌環境研究課で上記の試験研究課題の中で継続して実施します。 水稻は野菜作物研究課で、茶は北相地区事務所以上記の試験研究課題の中で実施します。 果樹は、現場での使用状況や課題に関する情報収集を行った上で、有望な資材等を洗い出すとともに、試験実施に必要なほ場と材料を準備する必要がありますので、実施に向けて検討します。			
解決予定年限	①1年以内	②2～3年以内 (野菜・水稻)	③4～5年以内 (茶) ④5～10年以内
備考			